

問い合わせ先
南九州沿岸域流木対策本部
交通業務室 中村 直人
TEL 099-250-9805

平成 21 年 10 月 13 日 1900
第十管区海上保安本部

大隅群島及びトカラ群島西方沖流木情報（第 4 9 報）

9 月 7 日に設置した南九州沿岸域流木対策本部及び鹿児島海上保安部現地対策本部は先日の航空機による広域（南西諸島沖黒潮流域帯）、超高速船の航路筋及び同周辺海域大隅群島西方海域に係る調査結果並びに巡視船等での調査結果を踏まえ、13 日午後 7 時に解散しました。

なお、今後は巡視船・航空機等のしょう戒に併せて、流木の調査・揚収を行います。

1 流木揚収結果

船舶種類等	通算 揚収本数
当庁船舶	587
鹿児島県 漁業調査船・取締船・タグボート	189
九州地方整備局 がんりゅう・タグボート	656
海上自衛隊艦艇	139
その他	2
合 計	1,573
漁協（漁船）	約2,420

2 被害状況

9月30日に1件、10月3日に2件、硫黄島周辺海域で、漁船が流木に衝突しプロペラを損傷したとの新たな情報を入手した。衝突による怪我等人的被害なし。詳細については、調査中。

（午後7時現在）（累計44件）

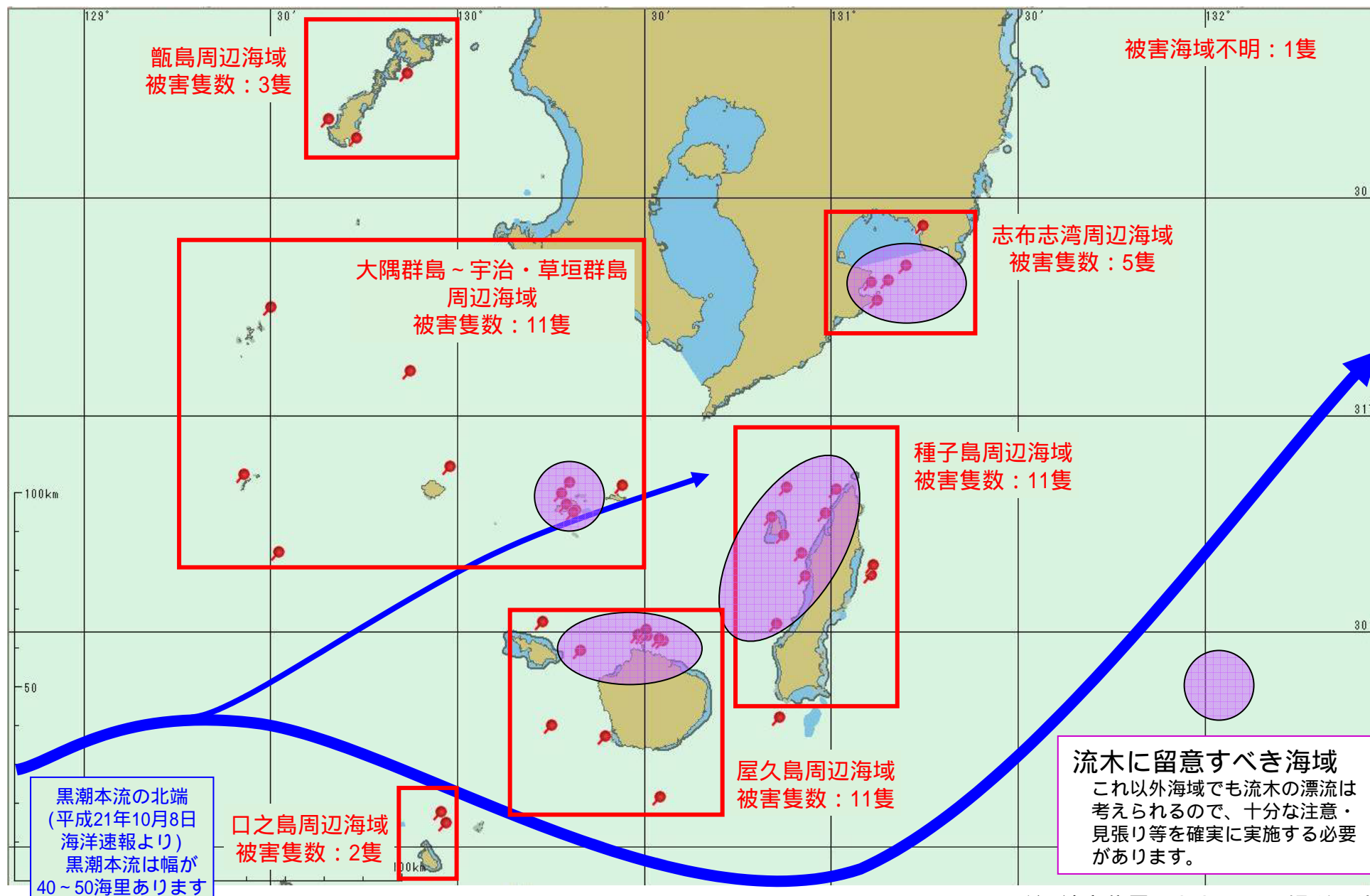
3 大隅群島及びトカラ群島西方沖に関する今後の情報提供等

（1）航空機、通航船舶等からの流木に係る情報は、航行警報、NAVTEX、MICS、AIS等の手段を活用し情報提供を引き続き実施します。

（2）超高速船航路筋及び周辺海域で確認された流木は減少しており、船舶交通及び港湾機能に対する危機的状況はほぼ解消されるに至りました。しかし、流木による危険は皆無になった訳ではないことから、今般、特に小型船舶を対象として、これまで流木が原因により発生した海難のハザードマップを作成して、特に留意すべき海域等を明示し、漁協等小型船舶への安全啓発・注意喚起を実施します。

ハザードマップ（合計被害隻数：44隻）

平成21年10月13日
第十管区海上保安本部



注)被害位置はおおよその場所です

流木被害の状況と傾向について

流木被害発生海域	隻数
種子島周辺海域	11隻
屋久島周辺海域	11隻
大隅群島～宇治・草垣群島周辺海域	11隻
志布志湾周辺海域	5隻
甕島周辺海域	3隻
口之島周辺海域	2隻
海域不明	1隻
合計	44隻

